

国際ルールと国内ルールの比較表

	国際ルール(6人制)	国内ルール
参照	(IHF) Rules of the Game Wheelchair Handball 6 a side	(JWHF) 日本車椅子ハンドボール競技規則
コート	長さ44m 幅25m以上	長さ35m 幅20m
ゴール	3m×1,7m	3m×1,65m
競技時間	20分 10分ハーフ	15分 5分ハーフ
チームメンバー	最低12名 最高16名のプレーヤーを含む20名で構成 最低3名の女性プレーヤーがチームの一員であること。試合中は最低1名の女性プレーヤーを含む6名のプレーヤーがコートにいること	15名までのプレーヤーで構成。 同時に6名までのプレーヤーがコートに出場。 コート内には障がい者又は女性1名が必ず出場
チームポイント	各プレーヤーをクラス1・2・3・4にクラス分けし、フィールドに出場しているプレーヤーの合計ポイントが17を超えてはならない。	クラス分けもチームポイントの規定もなし
ボール	IHF公式サイズに準じた2号球	直径16～18cmのソフトタイプのボール
車椅子	車いすの前部(床面から約11cmの高さ)に水平バーを設置。1～2個の転倒防止装置を車いすに取り付ける(床からの高さは最大2cm)。 最大高さ(床からクッションまたはシートプラットフォームの最上部まで)は63cmを超えてはならない 駆動輪の最大直径は71cm。	スタンダードもしくはスポーツタイプの車いす椅子の高さは床より座面までを53cm以内とする
オーバータイムの規定	ボールを最大3秒間保持(3秒以上ボールを保持することは許されない)	車いすを操作していない状態でボールを保持し5秒を越えることは許されない
ボールの取扱い(オーバープッシュの規定)	ボールを膝の上(膝の間ではない)に置いて、車いすを押しながら最大3秒間ドリブルを行う。ボールを受け取った後、プレーヤーはバウンドさせることでアクションを開始。 “プッシュ”とはホイールを押ししたり動かししたりすること。手がホイールから離れたら3秒以内に次のアクション(ドリブル、パス、シュート)をしなければならぬ。その3秒後に再びホイールに触ることは許されない。	ボール保持者が車いすのハンドリムを連続4回以上プッシュすることは許されない(オーバープッシュ)
ボールの取扱い(フロントボールの規定)	規定なし	床の上にあるボールを、車椅子のフットプレート部より前で拾うことは許されない(ただし、バウンドしているボールを空中でとる場合は除く)